

3

自然^や文化^と
身近^{にふれあえる}
まちづくり

I 環境の現況

森林や農地や水辺の保全は、地域住民の皆様が大きな役割を果たしていますが、担い手の高齢化や後継者不足などにより、森林や農地の荒廃が進んでいます。

そのため、森林施業や営農活動等はもとより地域の生活環境整備等へも支援をしています。

また、本市には、緑豊かな山々、瀬戸内海国立公園など恵まれた自然環境や歴史が刻まれた史跡や文化財などが多数存在し、身近に自然や文化とふれあえる市民の憩いの場として利用されています。

これらの自然や文化資源の保全活動を行う多くの市民、団体に対し、さまざまな支援をする一方、市においても、都市農村交流事業や豊鹿里パークでの農業体験、動物園や公民館等で自然や動物とのふれあいの機会を提供しています。

1. 環境関連ボランティア活動の推進

環境保全活動について、多くの市民、団体がボランティアとして活動されています。

市では、「周南市市民活動グループバンク」「周南市ボランティア人材バンク」を設置し、登録団体等の活動や利用者の情報取得を支援しています。

■環境関連登録数 (平成24年3月末現在)

グループバンク登録数	94 団体
人材バンク登録数	5 人

■周南市ボランティア人材バンク及び周南市市民活動グループバンクのHP

周南市ボランティア人材バンクのHP	http://www.city.shunan.lg.jp/hp/shiencent/shimin/humanbank.php
周南市市民活動グループバンクのHP	http://www.city.shunan.lg.jp/hp/shiencent/shimin/activitybank.php

2. 文化財（国指定、県指定、市指定、登録有形文化財）の状況

市内には、国指定の文化財が5、県指定の文化財が16、市指定の文化財が67、国の登録有形文化財が7あります。

■文化財の指定状況

（平成24年3月末現在）

名称	文化財数	文化財の名称
国指定	5	①大玉スギ ②絹本著色陶弘護像 ③山口県竹島古墳出土品 ④三作神楽 ⑤八代のツルおよびその渡来地
県指定	16	①山田家本屋 ②式内踊 ③長穂念仏踊 ④金造菩薩形坐像 ⑤若山城跡 ⑥金梨子地菊桐紋散雲蒔絵 鞍・鐙 ⑦勝栄寺土塁及び旧境内 ⑧諫鼓踊 ⑨花笠踊 ⑩安田の糸あやつり人形芝居 ⑪徳修館 ⑫潮音洞 ⑬秘密尾の氷見神社社叢 ⑭須万風呂ヶ原のエノキ ⑮建咲院什物 ⑯山崎八幡宮の本山神事
市指定	67	周南市文化スポーツ課のホームページを参照ください。 http://www.city.shunan.lg.jp/section/ed-sports/ed-shogai-bunka/bunkazai/bunka_index.html
国の登録有形文化財	7	①四熊家住宅主屋 ②四熊家住宅診療棟 ③旧日下医院本館 ④旧日下医院別館 ⑤旧日下医院正門及び塀 ⑥周南市市長公舎洋館 ⑦周南市市長公舎和館

3. 都市公園の状況

市内には、市が管理する公園が162公園、178.57haあります。

Ⅱ 基本施策の実施状況

1 自然環境の活用

目標：自然の恵みを享受しつつ、良好な自然環境の保持・再生を図ります。

(1) 森林の保全・活用

① やまぐち森林づくり県民税による保全事業の実施

山口県では、荒廃が深刻化している森林を、適正に維持・管理し、県民共有の財産として次世代に引き継いでいくため、森林の整備を目的とした独自の政策税制として、平成17年4月1日に「やまぐち森林づくり県民税」が導入されました。

この制度による周南市の平成23年度事業は下表のとおりです。

■ やまぐち森林づくり県民税による保全事業(平成23年度)

事業名	実施場所	面積(単位:ha)
公益森林整備事業	大字須々万奥字中畑 他	50.33
竹繁茂防止緊急対策事業	大字大道理字大滝 他	53.56
合 計		103.89

② 市有林の保育施業事業の実施

市有林の健全育成のため、下刈、枝打ち、間伐、搬出間伐、除伐、拡大造林の保育施業を平成23年度は153.26haを実施しました。

③ 森林整備地域活動支援事業の実施

作業路網の改良活動などの森林所有者による日常的な活動を支援し、適切な森林整備及び保全により、森林の有する多面的機能の促進を図るため、平成23年度は森林面積4,098haを対象に事業費を支援しました。

④ 未整備森林の施業の実施

荒廃の進む約37,000haの個人所有林を、コストダウンを図りながら適切な森林施業を促進するため、効率的な林内路網整備・森林施業として、平成23年度は10haを実施しました。

⑤ 流域育成林整備事業の実施

市内の森林の荒廃に歯止めをかけるため、森林所有者が作成した森林施業計画に基づく造林事業のうち、山口県造林事業等補助金要綱に基づき、5%の上乗せ補助を実施しています。

平成23年度に上乗せ補助を実施した施業面積は319.98haとなっています。

(2) 農地の保全・活用

① 農地・水保全管理支払交付金事業の実施

農地・水保全管理支払交付金事業は、農業者だけでなく地域住民などが参加する活動組織により、農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組と環境保全に向けた営農活動を行うものです。

その活動は、農道への砂利の補充や水路の草刈り、施設の長寿命化を図るための保全管理、水路沿いの花の植え付けなどで、市内では28地区で展開されています。

(3) 水辺の保全・活用

① 藻場・干潟保全活動への支援

水産資源の保護、培養に重要な役割を果たす、藻場・干潟に保護区の設定や耕うんなどの機能保全を行う団体に対し、国・県と連携し支援しています。

平成23年度は「共第81号藻場・干潟保全活動協議会」を通じ、市内9団体に補助しました。

2 自然とのふれあいの推進

目標：身近な自然とのふれあいの場を有効に活用し、自然とふれあい、マナーの向上を目指します。

(1) ふれあいの場の整備

①瀬戸内海国立公園「太華山」の利活用

瀬戸内海国立公園に位置する太華山は、市を代表する自然の風景地で、生物の多様性や、貴重な照葉樹林等の自然植生を保全する役割も担っている重要な場所です。

多くの方に太華山の素晴らしさを理解していただくためにも、地域における保護管理体制の強化と発展が望まれています。

現在ある2つのハイキングコースは手軽に楽しんでいただけるよう、地域住民の皆さんとともに維持管理をし、春や秋には、さまざまなウォーキングツアーなども実施され、市民だけでなく、市外からも多くの方に訪れていただいています。

平成23年度には、地元団体、専門家、行政で構成する太華山自然保護協議会を設立しました。この協議会は、自然と調和した、優れた自然の風景地や生態系を保護するとともに、利用者の五感を通してその豊かな自然を体験し感動を与え、地域の魅力を創造することで、地域振興につなげていくことを目的としています。

②瀬戸内海国立公園「太華山」の景観整備

平成23年度は、山頂広場の公園敷地内の危険構造物を撤去し、山頂周辺の修景改善とともに、美しい多島海景観の展望地として、より多くの方に親しまれるよう整備を進めています。



【太華山からの夜景】

③瀬戸内海国立公園「太華山」の環境整備

平成23年11月27日に太華山で開催された「JRふれあいウォーク」に合わせ、榎浜愛山会が中心となって地元住民に呼びかけ、榎浜コミュニティ推進協議会、榎浜公民館とともにハイキング登山道の草刈りやゴミ拾いなどの環境整備を行いました。市外や遠くは広島県から33人の参加者がありました。

JRふれあいウォークとは、JR西日本が各地の観光協会などからハイキング行事などの情報を集め、パンフレット化して中国地方の各駅に置いているものです。



【太華山での清掃活動】

④西緑地公園の維持管理

市街地に所在する西緑地公園は、旧京都大学演習林であった丘陵地が主体となった自然公園と植物園を兼ねた貴重な山林緑地で、公園愛護会等を中心に市民共有のみどりの財産として次の世代に引き継げるよう、除草、清掃、園路等の整備など、緑地の保全・活用に取り組んでいます。

⑤市民農園の貸付

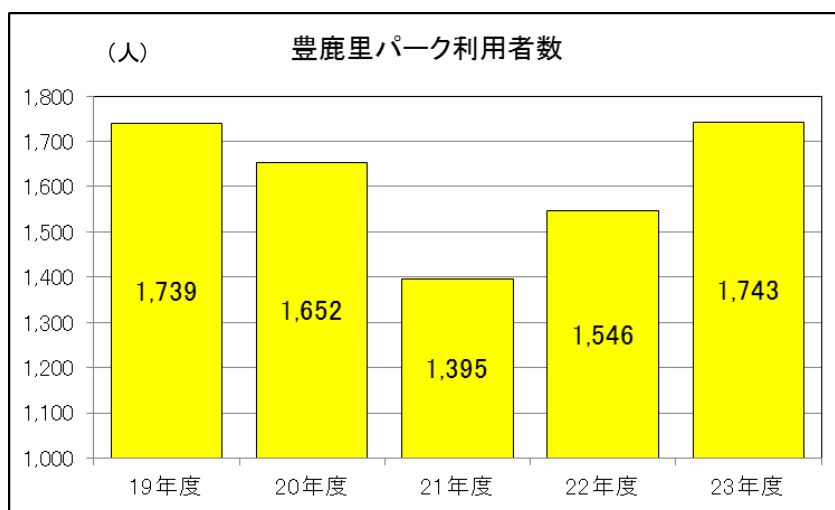
市内には9か所の市民農園があり、自然とのふれあいと農業に対する理解を深めることを目的として、213区画、7,569㎡の農地の貸付を募集しています。

(2) ふれあい活動の充実

①豊鹿里^{ゆかり}パークの利用状況

豊鹿里パークは、カルチャースクールやイベント会場として利用できる交流の施設です。年間を通じて農業体験や加工教室などのさまざまな体験プログラムが開催されています。クライנגアルテン（農地付宿泊施設）や農地だけの「貸し農園」もあります。平成23年度は1,743人の利用がありました。

■豊鹿里パーク体験交流利用実績



《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

②水辺の教室

平成23年度は水辺の教室を島地川、黒岩川で開催しました。

参加者数は、延べ200人で、指標生物の確認状況から判定する水質階級は、2ヶ所とも「きれいな水」に該当しました。

■水辺の教室開催状況 水生生物の調査結果

調査場所名		島地川（新平ヶ原公園）	黒岩川（黒岩峡）							
年 月 日		平成23年7月28日				平成23年8月2日				
主催		島地川ダム周辺環境整備地区管理協議会				教育委員会熊毛総合出張所 熊毛公民館、熊毛総合支所市民生活課				
参加者数(主催者を含む。)		99人				101人				
天 気		晴れ				晴れ				
水 質	指 標 生 物	見つけた指標生物の欄に○印を、数が多かった上位から2種類（最大3種類）に●印をつける。								
きれいな水	水質階級Ⅰ	1. アミカ								
		2. ウズムシ		○						
		3. カワゲラ		○				○		
		4. サワガニ		●				●		
		5. ナガレトビケラ		○				○		
		6. ヒラタカゲロウ		●				●		
		7. ブユ		○						
		8. ヘビトンボ		○					○	
		9. ヤマトビケラ								○
少しきたない水	水質階級Ⅱ	1. イシマキガイ								
		2. オオシマトビケラ								
		3. カワニナ		○					○	
		4. ゲンジボタル		○						
		5. コオニヤンマ							○	
		6. コガタシマトビケラ							○	
		7. スジエビ							○	
		8. ヒラタドROMシ		○					○	
		9. ヤマトシジミ								
きたない水	水質階級Ⅲ	1. イソコツムシ								
		2. タイコウチ								
		3. タニシ								
		4. ニホンドロソコエビ								
		5. ヒル		○					○	
		6. ミズカマキリ								
		7. ミズムシ								
大変きたない水	水質階級Ⅳ	1. アメリカザリガニ								
		2. エラミミズ								
		3. サカマキガイ								
		4. セスジユスリカ								
		5. チョウバエ								
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1. ○印と●印の個数	7	3	1	0	6	5	1	0	
	2. ●印の個数	2	0	0	0	2	0	0	0	
	3. 合計 (1.欄+2.欄)	9	3	1	0	8	5	1	0	

③動物園でのふれあい活動

◆動物ふれあいプログラム

徳山動物園では、平成17年度から「ズー夢アップ21」（ズームアップ21）と称して動物園の魅力アップをめざした事業を実施しています。

その一環として、主に日曜日・祝日に「ズーわくわくサンデー」を実施し、多くの来園者の皆さんに楽しんでいただいています。

平成20年度からは、従来のなかよしコーナーを「ふれあいどうぶつの森」と名づけ、平日にも動物たちとふれあえるようになりました。

また、平成21年度下半期からは、体験教育事業と銘打って、動物園らしい素材を使った工作体験や子どもたちによる飼育員のお仕事体験「KIDZOO（きっずー）とくやま〜こども飼育員」などのプログラムを展開し、生き物や自然に親しみ学習する機会を提供しています。

平成23年度は、のべ8,500名程度の参加がありました。



【小動物とのふれあい】



【動物飼育体験】

◆ TOKUYAMA ZOO CLASS

工作や体験と動物の観察を組み合わせた学習プログラムで毎月テーマを変えて実施しています。自然の営みを知り、環境問題を考える内容となっています。

◆周南ふれんZOO（ズー）の活動状況

「動物園学習支援ボランティア周南ふれんズー」は、平成16年度に発足した市民活動を行うボランティアグループです。

平成23年度末現在、38人が登録しており動物とのふれあい活動のサポートや工作イベントの企画・運営など多岐にわたり活躍しています。



【牛乳パックを使った工作】



また、プルタブ集めにより車椅子を入手し、平成21年度から毎年2台、のべ6台の車椅子を動物園に贈呈されています。

【贈呈された車いす】

④公民館での活動

◆夏休みこども教室「LEDライトをつくろう」(新南陽公民館)

と き	平成23年7月26日(火)
と ころ	新南陽公民館
参加者	40名
内 容	アルミテープを使ってLEDライトを製作。「節電」や「LED」という言葉が生活に浸透してきたのか、人気があり、子供たちは熱心に取り組んでいた。

◆木工作品づくり教室(須々万公民館)

と き	平成23年8月19日(金)
と ころ	須々万ふれあいの森
参加者	31名
内 容	木材を利用して、小学生がつくりたいものを製作。そうめん流し、ふれあいの森内で遊び、自然とふれあう体験を行った。

3 まちの景観や文化財の保全

目標：良好な景観や文化財を保全し、美しいまち並みを創出します。

(1) まちの景観の保全・形成

①景観計画の策定

本市は平成21年3月30日に景観法の規定による景観行政団体の指定を受け、市が地域の実情にあった景観の保全に対する基準を設けることができるようになりました。

平成23年度は、本市の景観行政の指針となる周南市景観計画を策定し、この計画を進めていくための景観条例を制定しました。今後は、景観計画を基に地域の魅力と活力を高め、これからも住み続けたい「ふるさと周南」の良好な景観保全に努めます。



【周南市景観計画】

②景観シンポジウムの開催

景観計画を策定し、これから景観行政を進めるにあたり、計画の内容を広く市民の皆様にご覧いただき、景観まちづくりへの市民意識の醸成を目的に、「周南市景観シンポジウム」を開催しました。

■景観シンポジウムの開催(周南総合庁舎さくらホール)

開催日	参加人数	内容
平成24年 2月25日 (日)	約250人	「ふるさと周南景観特選」76件の発表、周南ふるさと大志の寺尾明人さんの講演や、景観まちづくりに関するパネルディスカッションを行いました。

(2) 文化財の保存・活用

①文化財の保存活動

平成23年文化財防火デーに合わせて山田家本屋保存会、近隣住民が参加し、西消防署西部出張所協力のもと、平成24年1月26日に県指定文化財「山田家本屋」(湯野)において消火訓練を実施しました。



【山田家本屋(県指定有形文化財)消火訓練】

②伝統文化活性化の支援

伝統文化の継承と地域の活性化を図るため、周南市に伝わる伝統文化の活性化及び復興等に取り組む団体に対し支援しています。

■伝統文化活性化補助金支給団体

団体名	活動内容
三作神楽保存会	下記参照
安田の糸あやつり人形芝居保存会	江戸時代から約 200 年の歴史を持つ郷土芸能で山口県指定無形民俗文化財にも指定されている人形芝居の保存・伝承及び後継者育成。
中須伝統芸能伝承館管理運営委員会	中須伝統芸能伝承館の修理補修

◆^{みつくり}三作神楽の奉納（国重要無形民俗文化財）

和田の三作地区で1,300年以上も前から伝承されている三作神楽は、7年目ごとの式年祭で奉納されています。

三作神楽保存会によって伝承され、平成23年11月13日に三作神楽伝承館において奉納されました。

神楽には23の舞があり、神祭りの古風な形をよくとどめ、この地区の神楽の系譜を考える上で非常に重要とされています。



【三作神楽】

③文化財マップの作成

市内の指定文化財（国指定 5、県指定 16、市指定 67、登録文化財 7）を地図と写真、簡単な解説を載せてわかりやすく紹介しています。



【周南市文化財マップ】

4 身近な緑の保全・創出

目標：身近な緑を保全し、快適な緑地環境を創出します。

(1) 緑地・公園の整備

① 緑地・公園の計画的な整備

平成20年6月に策定した「周南市緑の基本計画」により、緑のまちづくりを推進しています。

② 公園の新設、公園内の整備事業の推進

平成23年度は、4つの公園の整備工事を実施しました。

- ◆ 周南緑地整備（再整備）
- ◆ 永源山公園整備（継続整備）
- ◆ 高水近隣公園整備（継続整備）
- ◆ 代々木公園整備（再整備）



【周南市緑の基本計画】

(2) 緑化の推進

① 花いっぱい運動の推進

◆ 花壇コンクール

各地域、学校及び職場育てている優秀な花壇を表彰しています。

■ 平成23年度最優秀賞

部 門	花壇名	団体名
地域・職域・団体の部	速玉公園第一花壇	速玉公園愛護会
学校の部	秋月小学校花壇	秋月小学校

◆ 花苗配布

公民館等を通じて地域の花壇に配布しています。

◆ 花づくり講習会

花苗づくり・花壇づくりの講習会を公民館で開催しています。

② 花とみどりの地域リーダー養成講座開催

地域で緑や花に関する活動の中心的役割を担う地域リーダーを育成しています。

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》